

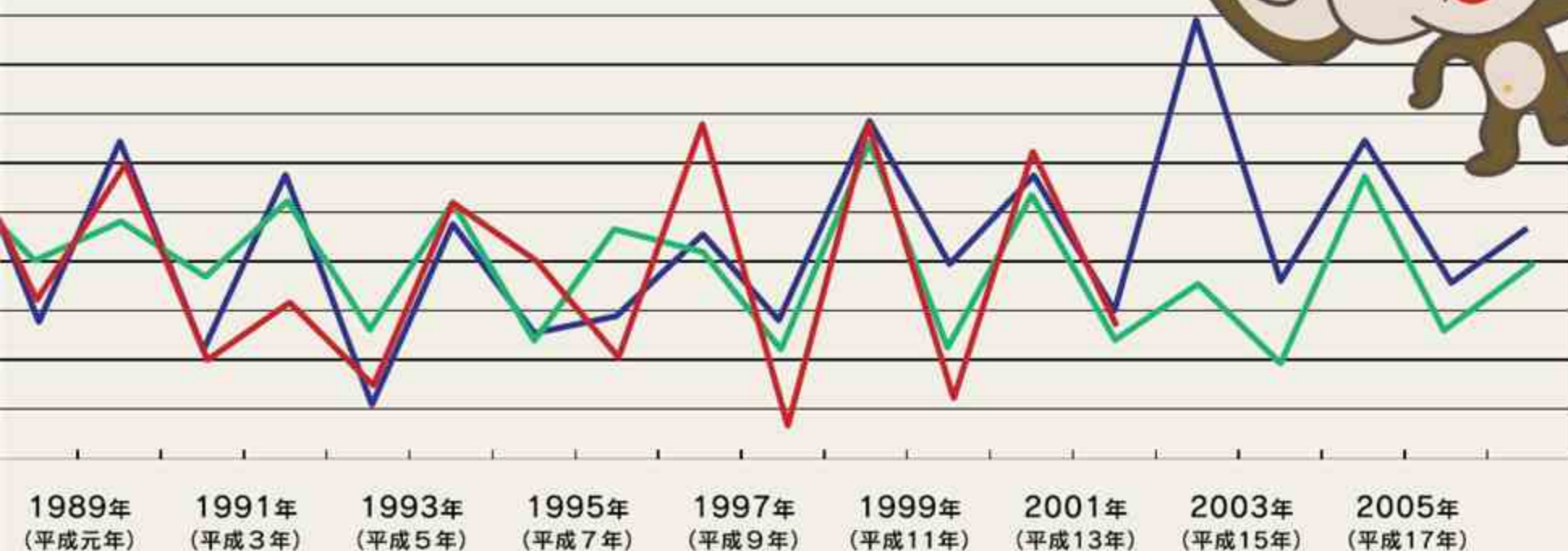
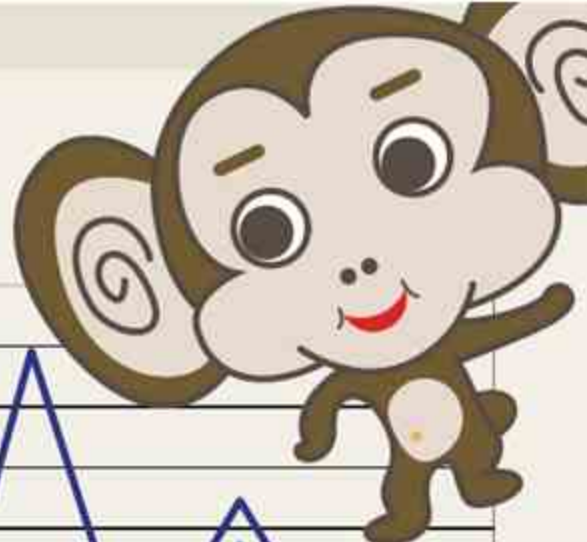
高崎山 メンバーズ クラブ会報

2009.07

No.55

Takasakiyama
MEMBER'S CLUB
kaihou





お母さん 頑張って

6月6日の朝、いつものように寄場でC群の出産確認をしていた時の事です。お腹の横が血で染まった初産のメスザルを発見しました。状況を確認しようと近づいて見ると、かたわらにいる赤ちゃんザルの右手から出血しています。出産時何らかの原因で、指先を失ってしまったようです。通常、赤ちゃんザルは生まれると自力で母ザルのお腹にしがみつき移動をしますが、この赤ちゃんザルは母ザルのお腹にしがみつ়く事ができません。



私たちは心配でその母ザルと赤ちゃんザルを見守り続けました。この母ザルは初産でもあり、赤ちゃんザルがしがみつけない状態だと母ザルが放置してしまい、死ぬおそれがあるからです。

やがて、C群は山の方へと移動を始めました。母ザルは群れとはぐれないようにしながら、3足歩行でついていきます。

その後も毎日この親子は、群れと一緒に山から下りてきます。移動する時は必ず母ザルの手が赤ちゃんザルに添えられて…。

募集

この母ザルは初めての出産で名前がありません。メンバーズの会報で名前を募集したいと思います。良い名前があればご連絡ください。お待ちしております。

タクマ君のその後

昨年、TBSの「どうぶつ奇想天外」で取り上げられ、「高崎山だより」でも紹介してきました「タクマ」ですが、昨年の10月に里親の「テンテン」もいなくなりました。

「テンテン」がいなくなってさみしいのではないかと私たち係員も心配していましたが、「テンテン」の娘から面倒をみてもらっています。「タクマ」は1頭でよく石ころ遊びをしていますが、友達ともよく遊び、元気に成長をしています。「タクマ」は私たち係員から小さい頃面倒をみてもらったことを覚えているのか、係員が出勤すると近づいて「ゴニョゴニョ」と何か言ってくる。何を言っているのか係員はわからないのですが、愛らしいその姿から「あの時はありがとう。」と言っているのだらうと思っています。日々、成長していく「タクマ」君を見にきてください。

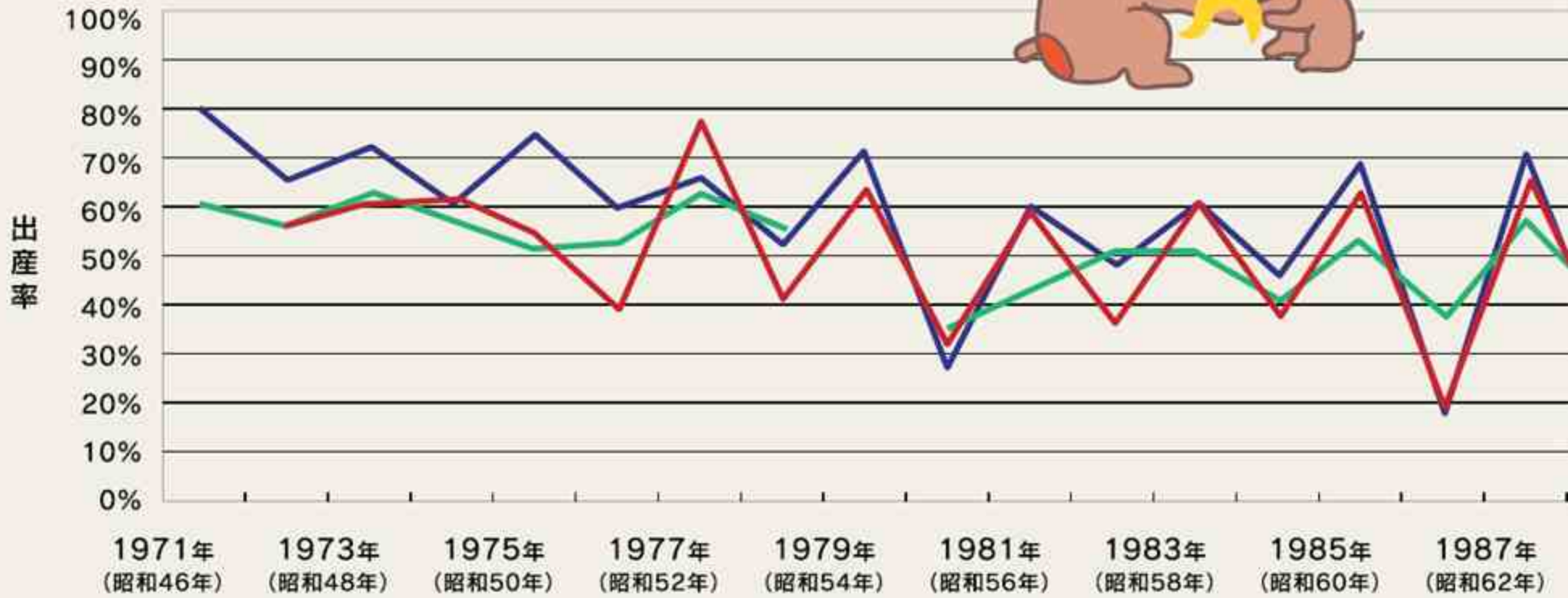


出産数と出生率の変化



出産率の変化

A群 — B群 — C群



出産数の変化

出産年月日	群	母親	性	名前	出産数
S.59.5.2	A	リツ	♂	ユータロー	250
S.60.5.5	A	スマレ	♂	ユキチ	404
S.61.5.3	A	ハーフ	♂	ハレー	161
S.62.4.28	A	ジュン	♀	エン	406
	A	スマレ	♂	タカ	
S.63.5.8	A	ジュンホ	♀	ドーム	226
H.1.4.21	A	スマレ	♀	ミドリ	387
H.2.5.3	A	キノコ	♀	アース	160
H.3.5.1	A	ヒナ	♂	ミール	391
H.4.5.3	B	ニテル	♂	イツワ	133
H.5.4.19	A	サフラン	♂	カズ	343
H.6.4.24	A	ミレン	♀	ライス	248
H.7.5.1	A	イトマン	♀	キボウ	238
H.8.4.28	A	ユウヒ	♀	ロード	436
H.9.5.15	A	ウルカ	♂	ファイブ	104
H.10.4.14	C	コカゲ	♂	ゴールド	452
H.11.5.12	A	ヒャクナ	♀	ユーロ	143
H.12.4.30	A	ニット	♀	ミレ	428
H.13.5.5	A	パロマ	♀	トト	208
H.14.4.20	A	タイクロ	♂	ワールド	250
H.15.5.16	B	オキョウ	♂	フィフティ	106
H.16.5.6	C	ミカコ	♀	オリンピック	241
H.17.5.14	B	エーボン	♀	フク	131
H.18.4.24	C	ムービー	♀	アイ	204
H.19.5.14	B	ボンカン	♀	メジロン	174
H.20.4.19	C	ムービー	♂	ゴーゴー	218
H.21.5.16	C	フミカ	♂	レンバ	※



昭和59年より、第1号の赤ちゃんには名前を付けて、出産数を確認してきました。

表を見て分かるように、高崎山では第1号が生まれるのは早くて4月中旬、遅くて5月中旬です。

第1号が生まれるのが早い年は出産数が多く、遅い年は出産数が少ない傾向にあります。

高崎山では多い年と少ない年が交互に繰り返されています。(グラフ参照)

要因として、山の中の食べ物の量や、2年に1度出産するメスが多いからではないかと考えられます。

この表から推測すると、今年はお産頭数の少ない年になることが予想されます。

(※8月末まで出産のシーズンの為、未記入)

サル物語

SARU MONOGATARI

～ゾロメ～

C群第4位の「ゾロメ」を観察していると、コザルの面倒をよくみている姿を目にします。また、その母ザル達からも信頼をよせられているようです。

今年に入って「ゾロメ」の行動に勢いが増しました。コザルが鳴いている横を係員が通るだけで子供に近づくなと威嚇するようになりました。

コザルの面倒をみたり、危険なことが起きれば仲間を守るために攻撃をする行為は子孫を残していくために必要な行動です。

C群α「ゾロ」の弟で現在22才の「ゾロメ」。C群には「ゾロ」や「ベンツ」といった群れを守るオスザルたちが多いのですが、みんな年をとりました。「C群もあと数年経てば勢いがなくなるのではないか」と言う人もいますが、「ゾロメ」を見ていればそんな不安も吹き飛びます。

弱いメスやコザルを守り、仲間からの信頼度が高くなっていく「ゾロメ」の活躍から目が離せません。



お知らせ

INFORMATION

11月15日(日)、高崎山「大分市民無料の日」(仮称)では、各種イベントを開催する予定になっております。

詳細についてはメンバーズ会報、ホームページ等でお知らせいたします。

尚、高崎山サル博士検定は、今年の実施いたしません。



写真募集

高崎山メンバーズ会報の表紙に写真を載せてみませんか？

写真とコメントを同封の上、下記の宛先までご応募下さい。

(担当/江川・嵯峨)

大分市内の小学生・中学生は入園料無料です。名札か生徒手帳を見せて入園して下さい。

ご意見・ご要望をおまちしています



国立公園

高崎山自然動物園

〒870-0802 大分市神崎3098-1

Tel.097-532-5010 Fax.097-536-2500

<http://www.takasakiyama.jp/>

info@takasakiyama.jp